

NPO共生学舎ならやま水田作業予定表  
有機栽培による美味しい米作り 水稲「ひのひかり」

	作業内容	実施日	作業内容	肥料、農薬種類・量	目的
11月	田おこし(荒耕深め)	中旬前後	作業前にワラソイル散布	ワラソイル 3袋/2反	ワラ分解促進
2月	田おこし(浅め)	中旬前後	雑草等、状況次第で3月実施でも可		雑草発生防止
4月		中旬前後			
5月	田おこし(浅め)	5/25～	畦塗-畦に土を塗り、水もれを防ぐ		
	入水	田おこし数日後			
6月	代掻き	6/03～	田んぼの土ヲトラクターで平らにする		
	2・3号田 ヒエ対策剤散布	代掻き後	(ヒエ発生なき場合は次年度不要)	ヒエ対策-サキドリ乳剤	ヒエのあるところに3回
	肥料散布	田植え3日前	排水口封鎖  (肥料・除草剤流出防止)	バイオノ有機 4袋/2反	山本さんから購入
	田植え	6/10～		苗の箱にオンコル剤	苗代720円*55箱
	除草剤散布	田植え1週間後		AIジャンボ(投込み)	
7月	中干し(排水)	7/15～	10日以上(土表面が若干ヒビ割れするまで)		分けつを止め根つき促進
	入水	7/25～	田の状況次第で先延ばしOK		
8月	肥料散布	8/3～	排水口封鎖 (肥料流出防止)	バイオノ有機 4袋/2反	山本さんから購入
9月	排水	9/20～	入水口ストップ		コンバイン作業効率化
10月	収穫	10/15前後			
	乾燥、脱穀	収穫後すぐ	山田川営農クラブ(山本いさお氏)		熱・湿気等による劣化防止

収穫量の実績

2018年(山本さん)	玄米30Kg*30袋	高畑10kg
2019年	玄米30Kg*25袋	高畑14kg
2020年	玄米30Kg*23袋	プラス24kg

稲の倒れ、雨の影響で収穫遅れる。  
ヒエ、ウンガの被害。台風14号で一週間遅れる。

2020.12.20

水管理の徹底

◎ 除草剤・肥料散布時は排水しない。

◎ 渴水注意

◎ 大雨時は土壌による排水調整

◎ 濾水注意